

5月上旬の麦巡回調査結果の概要

【調査項目及び方法】

対象病害：さび病（赤さび、小さび、黄さび）、うどんこ病

調査方法：株の最上位葉～その下部3葉位の発病程度、病斑面積歩合を調査

【東北信】調査日 5月6、7日

- ・調査時の生育は、大麦は穂揃期、小麦は出穂始～出穂期であった。
- ・病害の発生は確認できなかった。

【中南信】調査日 5月7、9日

- ・調査時の生育は、大麦は穂揃期～開花期、小麦は出穂始～出穂期であった。
- ・伊那市でコムギ赤さび病、松本市でコムギうどんこ病の発病を認めた。いずれも昨年発生が多かった地域であり、伝染原量が多かったものと考えられる。うどんこ病は発生の目立つ圃地もあり、今後上位葉へ進展すると収量への影響が懸念される。



写真1 コムギ赤さび病(伊那市) 写真2 コムギうどんこ病(松本市)